B5FH-D050-01

FOMA® HIGH-SPEED に接続可能な無線 WAN をお使いになる方へ

このたびは、弊社の FMV-BIBLO LOOX をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本紙では、FOMA® HIGH-SPEED に接続可能な無線 WAN(ワン)機能の使用方法や、お使いになるうえでの注意事項を説明しています。
本紙をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。



このパソコンは、訪問修理サービス(有料)はご利用になれません
パソコンが故障したときに対応させていただきます「故障・修理受付窓口(富士通パーソナルエコーセンター)」の「訪問修理サービス(有料)」は、このパソコンではご利用になれません。
故障の際には、「故障・修理受付窓口(富士通パーソナルエコーセンター)」の「パソコン修理便」をご利用ください。

FUJITSU

B5FHD05001

◆目次◆

製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように省略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
Windows Vista® Home Premium	Windows または Windows Vista または Windows Vista Home Premium
Windows Vista® Ultimate	Windows または Windows Vista または Windows Vista Ultimate
FOMA® HIGH-SPEED に接続可能な無線WAN	無線WAN

「FOMA」は NTT ドコモの登録商標です。
「mopera」、「mopera U」は NTT ドコモの登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM 社よりライセンスされています。
Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:

4,901,307	5,504,773	5,109,390	5,535,239	5,267,262	5,600,754
5,416,797	5,490,165	5,101,501	5,511,073	5,267,261	5,568,483
5,414,796	5,659,569	5,056,109	5,506,865	5,228,054	5,544,196
5,337,338	5,657,420	5,710,784	5,778,338		

1．FOMA HIGH-SPEED に接続可能な無線 WAN による接続について

無線 WAN（ワン）とは、このパソコンを携帯電話や LAN（ラン）、無線 LAN アクセスポイントなどに繋ぐことなく、インターネットなどのデータ通信を行う機能です。ここでは、無線 WAN についての概要や接続方法について説明しています。

無線WANによる接続について

- ご利用にはNTTドコモのFOMA回線契約が必要です。
- このパソコンで利用できる無線WAN機能は、HSDPA 3.6Mbps（受信最大3.6Mbps、送信最大384kbps）のパケット通信です。
- 利用可能エリアはNTTドコモの提供するFOMAハイスピードエリア、FOMAサービスエリア、FOMAプラスエリアです。FOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
- FOMAハイスピードエリア内において「mopera U®」などのFOMA HIGH-SPEED対応の接続先を利用した場合、通信速度は受信最大3.6Mbps、送信最大384kbpsです。
- FOMAハイスピードエリア、FOMAサービスエリア、FOMAプラスエリア内において、「mopera®」などFOMA HIGH-SPEED非対応の接続先を利用した場合、通信速度は送受信ともに最大384kbpsです。
- 「mopera U」をご利用いただく場合は、別途お申し込みが必要になります。詳しくはNTTドコモのホームページをご覧ください
  NTTドコモ ホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/
  mopera Uホームページ http://www.mopera.net/
- プロバイダによっては無線WAN接続のサービスを行っている場合があります。接続に関する情報や利用料金などについては、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

2. 初期設定をする

次の図をご確認のうえ、手順に従い初期設定を行ってください。

FOMA カードをセットする(→P.6)
データ通信用の FOMA カードをこのパソコンにセットします。



FOMA HIGH-SPEED に接続するための初期設定をする
NTT ドコモとの契約プランによって初期設定方法が異なります。

NTT ドコモ 定額データプランを契約している方
→「NTT ドコモ 定額データプラン接続ソフト」をご利用ください。(→P.8)

NTT ドコモ 定額データプランを契約していない方
→「NTT ドコモ 定額データプランにご契約していない方」をご覧ください。(→P.9)

FOMAカードをセットする

無線 WAN による通信を行うために、このパソコンの FOMA カードスロットに FOMA カードをセットします。
なお、ご購入時の状態では、FOMA カードはこのパソコンにセットされていません。

警告



・FOMAカードの取り付け／取り外しを行う場合は、必ずパソコン本体の電源を切り、ACアダプタやバッテリ、周辺機器を取り外してください。スリープや休止状態では取り付け／取り外しを行わないでください。データが消失する場合や、パソコン本体やFOMAカードが故障する原因となることがあります。



・FOMAカードの取り付け／取り外しを行う場合は、スロットに指などを入れないでください。けがの原因となることがあります。
・FOMAカードの取り付け位置のすぐそばに高温になる部分があります。
FOMAカードの取り付け／取り外しを行うときは、火傷の原因になることがありますので、必ずパソコン本体の電源を切ってしばらくしてから行ってください。

■必要なものを用意する

・FOMAカード

重要

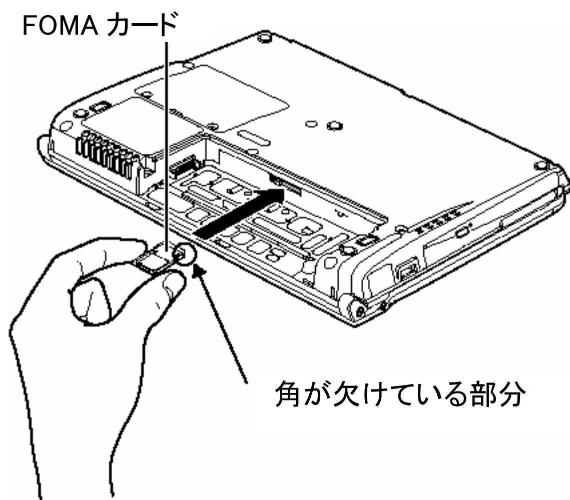
FOMAカードについて
FOMA カードをお持ちでない方は、ご購入後に富士通 WEB MART から送信されるメール「FOMA 新規契約のご案内」をご参照ください。
FOMA カードをお持ちの方は、そのままご利用いただけます。ただし、ご契約の料金プランやご利用方法によっては、データ通信料が高額になる場合がありますので、定額データプランなど、ご利用シーンにあった料金プランでのご利用をおすすめします。

■FOMAカードをセットする

1. パソコン本体の電源を切り、ACアダプタを取り外します。
2. 液晶ディスプレイを閉じ、パソコン本体を裏返します。
3. 内蔵バッテリパックを取り外します。

   内蔵バッテリパックの取り外し方は、『FMV 取扱ガイド』→「パソコンの取り扱い」→「バッテリで使う」→「内蔵バッテリパックを交換する」をご覧ください。
4. FOMAカードを、角が欠けている部分を右側に、端子が露出している面を上側にして、FOMAカードスロットにセットします。

   奥までしっかりと差し込んでください。

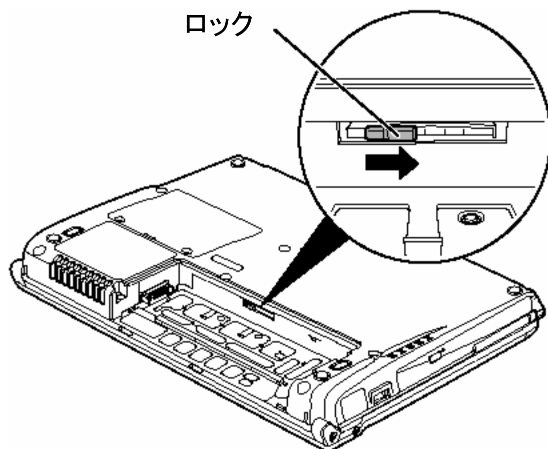




<u>FOMAカードは正しくセットしてください</u>

FOMA カードを裏返して挿入したり、表面にテープなどを貼って使用しないでください。FOMA カードを認識しない場合や、故障の原因となる場合があります。

5. ロックをスライドさせます。



6.　**内蔵バッテリパックを取り付けます。**

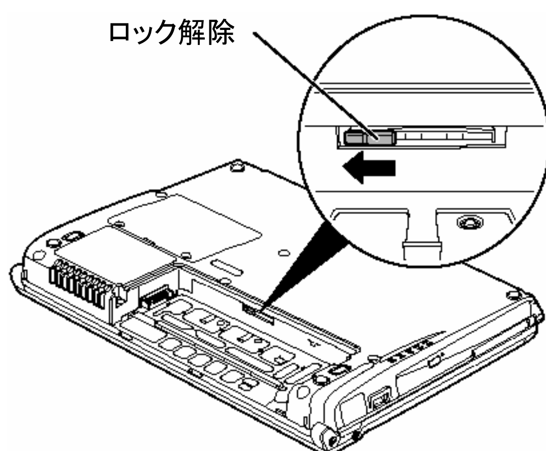
内蔵バッテリパックの取り付け方は、『FMV 取扱ガイド』→「パソコンの取り扱い」→「バッテリで使う」→「内蔵バッテリパックを交換する」をご覧ください。

■FOMAカードを取り出す

1.　**パソコン本体の電源を切り、ACアダプタを取り外します。**
2.　**液晶ディスプレイを閉じ、パソコン本体を裏返します。**
3.　**内蔵バッテリパックを取り外します。**

内蔵バッテリパックの取り外し方は、『FMV 取扱ガイド』→「パソコンの取り扱い」→「バッテリで使う」→「内蔵バッテリパックを交換する」をご覧ください。

4.　**ロックをスライドさせ解除します。**



5.　**FOMAカードを、FOMAカードスロットから取り出します。**

FOMA カードを一度押すと、少し飛び出します。
飛び出した FOMA カードを引き抜きます。

6.　**内蔵バッテリパックを取り付けます。**

内蔵バッテリパックの取り付け方は、『FMV 取扱ガイド』→「パソコンの取り扱い」→「バッテリで使う」→「内蔵バッテリパックを交換する」をご覧ください。

FOMA HIGH-SPEEDに接続するための初期設定をする
～NTTドコモ　定額データプランにご契約している方



国際ローミングについて

このパソコンは海外での無線WANの接続を保証していませんが、お使いになる国によっては、国際ローミングによって接続できる場合があります。その際には、国際ローミング中のデータ通信料が非常に高額になる場合がありますので、ご利用にあたっては充分にご注意ください。

1. パソコン本体のワイヤレススイッチを右にスライドし、電波を発信できる状態にします。
2. (スタート)→「すべてのプログラム」→「Sierra　Wireless」→「3G Watcher」→「3G Watcher」の順にクリックします。

   「3G Watcher」が起動します。

   「FOMAカードにパスワードを設定している場合は、パスワードを要求されます。

   「3G Watcher」を起動したときにパスワードを要求された場合は、FOMAカードに設定しているパスワードを入力してください。パスワードについて詳しくは、「5.　セキュリティ」(→P.26)をご覧ください。

   「3G Watcher」で電波を停止している場合は、無線をオンにする必要があります。

   「3G Watcher」で電波を停止している場合は、「3G Watcher」で電波を停止する方法(→P.21)をご覧になり、あらかじめ無線WANの電波をオンにしておいてください。

   「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を終了し、すぐに「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を起動しないでください。

   「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を終了し、すぐに「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を起動してしまうと、「無線がオフです」というメッセージが表示され正常に動作しません。
3. 「NTTドコモ　定額データプラン接続ソフト」をご利用になり、初期設定を行います。

   詳しくは、NTT ドコモのホームページをご覧ください

   NTT ドコモ　ホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

⇒NTTドコモ　定額データプランにご契約している方は、「NTTドコモ　定額データプラン接続ソフト」での設定ができれば、初期設定は完了です。

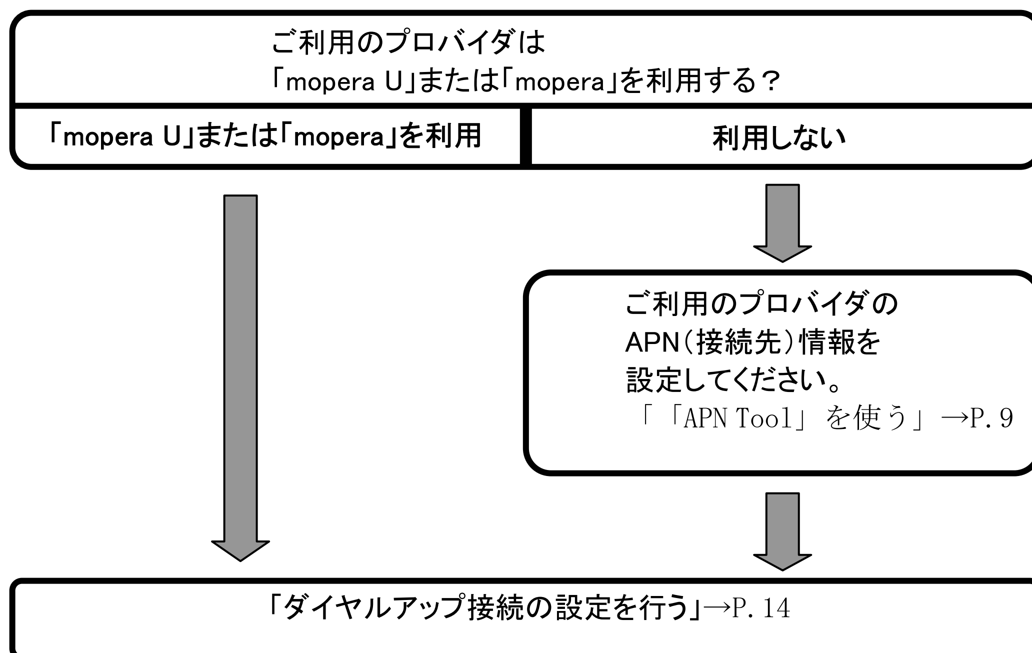


「ドコモ定額データプランご紹介ソフト」について

「ドコモ定額データプランご紹介ソフト」を使って「NTTドコモ　定額データプラン接続ソフト」をインストールすることができます。「ドコモ定額データプランご紹介ソフト」については、添付のチラシ「ドコモ定額データプランをご利用になる前に必ずお読みください」をご覧ください。

FOMA HIGH-SPEEDに接続するための初期設定をする
～NTTドコモ 定額データプランを契約していない方

次の図をご確認のうえ、手順に従って初期設定してください。



■「APN Tool」を使う

「mopera U」または「mopera」以外をご利用の場合は、「APN Tool」を使ってAPN（接続先）情報を設定する必要があります。

POINT

APN（Access Point Name）
パケット通信で接続するプロバイダなどを識別する文字列です。設定する文字列は、ご契約のプロバイダにご確認ください。

CID（Context Identifier）
パケット通信でのAPNを管理する番号です。ダイヤルアップ接続時の電話番号として使用します。

「APN Tool」は、このパソコンに、ご利用のプロバイダの APN（接続先）情報を登録するためのソフトウェアです。
ここでは、「APN Tool」を使ってできる次の操作について説明します。

・APN を登録する
・登録した APN をバックアップする
・登録した APN を削除する
・登録した APN を復元する

APNを登録する

NTTドコモ 定額データプランを契約していない方で、かつ「mopera U」または「mopera」以外をご利用の場合は、次の手順に従って「APN Tool」を使ってAPN(接続先)情報を設定する必要があります。



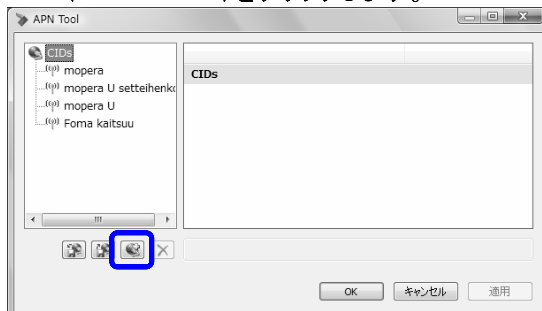
「APN Tool」を使用する場合は、「3G Watcher」が起動していないことを確認してください。
「3G Watcher」が起動していると、「APN Tool」は起動しません。

「3G Watcher」で電波を停止している場合は、無線をオンにする必要があります。
「3G Watcher」で電波を停止している場合は、「3G Watcher」で電波を停止する方法(→P.21)をご覧になり、あらかじめ無線WANの電波をオンにしておいてください。

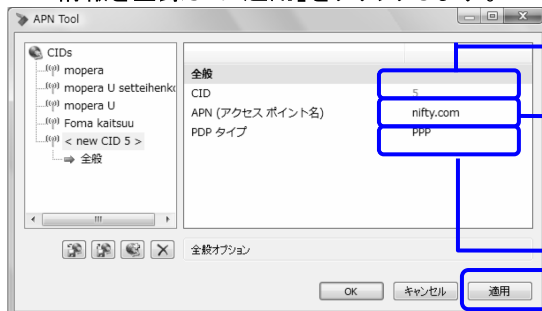
「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を終了し、すぐに「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を起動しないでください。
「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を終了し、すぐに「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を起動してしまうと、「無線がオフです」というメッセージが表示され正常に動作しません。

FOMAカードにパスワードを設定している場合は、パスワードを要求されます。
「APN Tool」を起動したときにパスワードを要求された場合は、FOMAカードに設定しているパスワードを入力してください。パスワードについて詳しくは、「5. セキュリティ」(→P.26)をご覧ください。

1. パソコン本体のワイヤレススイッチを右にスライドし、電波を発信できる状態にします。
2. (スタート)→「すべてのプログラム」→「Sierra Wireless」→「3G Watcher」→「APN Tool」の順にクリックします。
   「APN Tool」が起動します。
3. (Add new CID)をクリックします。



4. APN情報を登録して「適用」をクリックします。



CID は自動的に設定されますのでご確認ください。

APN を入力してください。
ご契約のプロバイダにご確認ください。

「IP」または「PPP」を選択します。
ご契約のプロバイダにご確認ください。

5. 「OK」をクリックします。



「APN Tool」以外で設定したCIDは、左のウィンドウに番号が表示されません。
動作上問題はありませんが、登録された情報を更新して「適用」をクリックすると、番号が表示されるようになります。また、登録したAPNをバックアップした後に復元しても、番号が表示されるようになります。

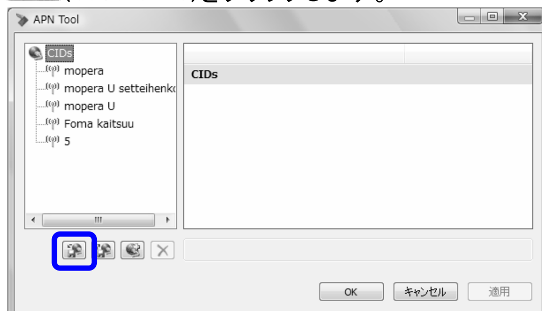
登録した APN をバックアップする

間違えてAPN情報を削除しても元の状態に戻せるように、次の手順に従ってAPN情報を保存してください。

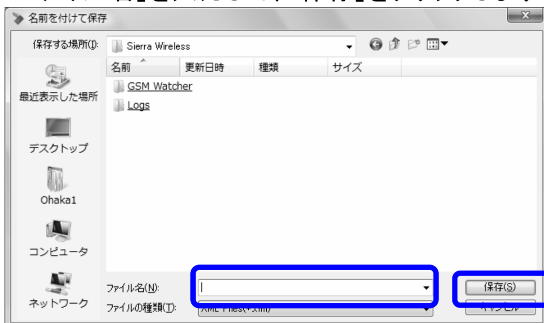


「APN Tool」を使用する場合は、「3G Watcher」が起動していないことを確認してください。
「3G Watcher」が起動していると、「APN Tool」は起動しません。
「3G Watcher」で電波を停止している場合は、無線をオンにする必要があります。
「3G Watcher」で電波を停止している場合は、「3G Watcher」で電波を停止する方法(→P.21)をご覧になり、あらかじめ無線WANの電波をオンにしておいてください。
「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を終了し、すぐに「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を起動しないでください。
「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を終了し、すぐに「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を起動してしまうと、「無線がオフです」というメッセージが表示され正常に動作しません。
FOMAカードにパスワードを設定している場合は、パスワードを要求されます。
「APN Tool」を起動したときにパスワードを要求された場合は、FOMAカードに設定しているパスワードを入力してください。パスワードについて詳しくは、「5.　セキュリティ」(→P.26)をご覧ください。

1. パソコン本体のワイヤレススイッチを右にスライドし、電波を発信できる状態にします。
2. (スタート)→「すべてのプログラム」→「Sierra　Wireless」→「3G Watcher」→「APN Tool」の順にクリックします。
   「APN Tool」が起動します。
3. (Save CIDs)をクリックします。



4. 「ファイル名」を入力して、「保存」をクリックします。



5. 「APN Tool」の画面に戻ったら、「OK」をクリックします。

登録した APN を削除する

ご利用しなくなったAPN情報や間違えて登録したAPN情報を削除する場合は、次の手順に従ってAPN情報を削除してください。



「APN Tool」を使用する場合は、「3G Watcher」が起動していないことを確認してください。
「3G Watcher」が起動していると、「APN Tool」は起動しません。

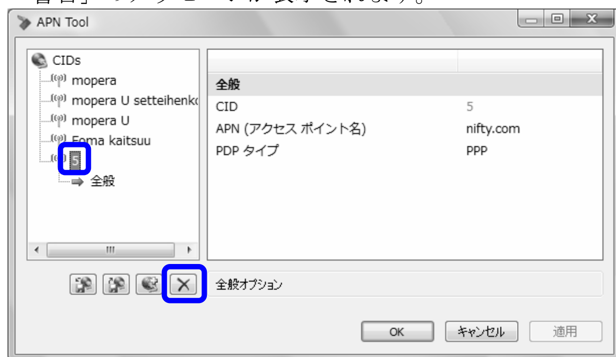
「3G Watcher」で電波を停止している場合は、無線をオンにする必要があります。
「3G Watcher」で電波を停止している場合は、「3G Watcher」で電波を停止する方法（→P.21）をご覧になり、あらかじめ無線WANの電波をオンにしておいてください。

「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を終了し、すぐに「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を起動しないでください。
「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を終了し、すぐに「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を起動してしまうと、「無線がオフです」というメッセージが表示され正常に動作しません。

削除をする前に、登録したAPN情報をパソコンに保存することをお勧めします
間違えてAPN情報を削除しても元の状態に戻せるように、登録したAPN情報をバックアップする（→P.11）ことを推奨します。

FOMAカードにパスワードを設定している場合は、パスワードを要求されます。
「APN Tool」を起動したときにパスワードを要求された場合は、FOMAカードに設定しているパスワードを入力してください。パスワードについて詳しくは、「5.　セキュリティ」（→P.26）をご覧ください。

1. パソコン本体のワイヤレススイッチを右にスライドし、電波を発信できる状態にします。
2. （スタート）→「すべてのプログラム」→「Sierra　Wireless」→「3G Watcher」→「APN Tool」の順にクリックします。
   「APN Tool」が起動します。
3. 削除したいCIDをクリックして、(Delete CID)をクリックします。
   「警告」のメッセージが表示されます。





番号で表示されていないCIDは、削除できません。

4. 「はい」をクリックします。
5. 選択したCIDが削除されたことを確認したら、「適用」をクリックします。
6. 内容を確認したら、「OK」をクリックします。

登録した APN を復元する

パソコンに保存したAPN情報に戻す場合は、次の手順に従ってください。



「APN Tool」を使用する場合は、「3G Watcher」が起動していないことを確認してください。

「3G Watcher」が起動していると、「APN Tool」は起動しません。

「3G Watcher」で電波を停止している場合は、無線をオンにする必要があります。

「3G Watcher」で電波を停止している場合は、「3G Watcher」で電波を停止する方法(→P.21)をご覧になり、あらかじめ無線WANの電波をオンにしておいてください。

「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を終了し、すぐに「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を起動しないでください。

「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を終了し、すぐに「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を起動してしまうと、「無線がオフです」というメッセージが表示され正常に動作しません。

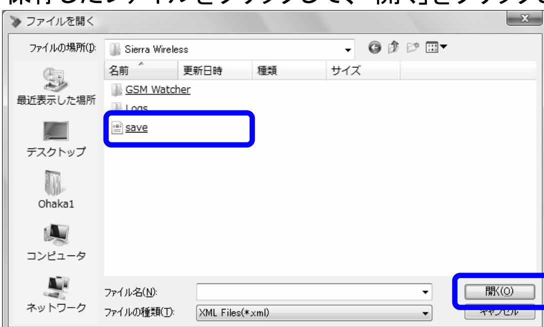
FOMAカードにパスワードを設定している場合は、パスワードを要求されます。

「APN Tool」を起動したときにパスワードを要求された場合は、FOMAカードに設定しているパスワードを入力してください。パスワードについて詳しくは、「5. セキュリティ」(→P.26)をご覧ください。

1. パソコン本体のワイヤレススイッチを右にスライドし、電波を発信できる状態にします。
2. (スタート)→「すべてのプログラム」→「Sierra Wireless」→「3G Watcher」→「APN Tool」の順にクリックします。
   「APN Tool」が起動します。
3. (Restore CIDs)をクリックします。



4. 保存したファイルをクリックして、「開く」をクリックします。



5. 「APN Tool」の画面に戻ったら、「OK」をクリックします。



「APN Tool」以外で設定したCIDにも、番号が表示されるようになります。

バックアップしたときに、ウィンドウ左に番号が表示されていなかった場合でも、復元をすると自動的に番号が表示されるようになります。

■ダイヤルアップ接続の設定を行う

次の方は、ここで説明する手順でダイヤルアップ接続の設定を行います。

・NTTドコモ　定額データプランを契約していない方で、「mopera U」または「mopera」をご利用になる方

・NTTドコモ　定額データプランを契約していない方で、「APN Tool」を使って「mopera U」または「mopera」以外のAPN（接続先）情報を設定した方

重要

国際ローミングについて

このパソコンは海外での無線WANの接続を保証していませんが、お使いになる国によっては、国際ローミングによって接続できる場合があります。その際には、国際ローミング中のデータ通信料が非常に高額になる場合がありますので、ご利用にあたっては充分にご注意ください。

1. パソコン本体のワイヤレススイッチを右にスライドし、電波を発信できる状態にします。
2. （スタート）→「すべてのプログラム」→「Sierra　Wireless」→「3G Watcher」→「3G Watcher」の順にクリックします。

   「3G Watcher」が起動します。

   重要

   「FOMAカードにパスワードを設定している場合は、パスワードを要求されます。

   「3G Watcher」を起動したときにパスワードを要求された場合は、FOMAカードに設定しているパスワードを入力してください。パスワードについて詳しくは、「5.セキュリティ」（→P.26）をご覧ください。

   「3G Watcher」で電波を停止している場合は、無線をオンにする必要があります。

   「3G Watcher」で電波を停止している場合は、「3G Watcher」で電波を停止する方法（→P.21）をご覧になり、あらかじめ無線WANの電波をオンにしておいてください。

   「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を終了し、すぐに「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を起動しないでください。

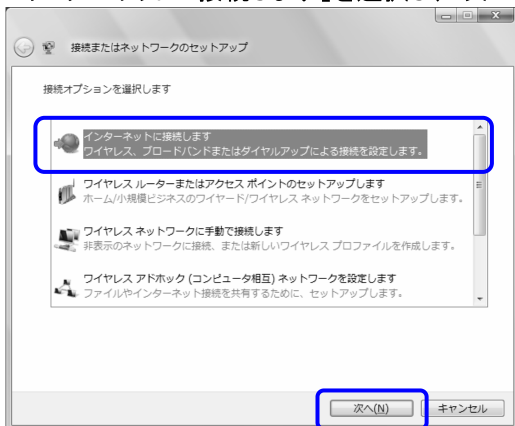
   「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を終了し、すぐに「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を起動してしまうと、「無線がオフです」というメッセージが表示され正常に動作しません。
3. （スタート）→「コントロールパネル」の順にクリックします。

   「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
4. 「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」の順にクリックします。

   「ネットワークと共有センター」ウィンドウが表示されます。
5. 「ネットワークと共有センター」ウィンドウ左の「接続またはネットワークのセットアップ」をクリックします。



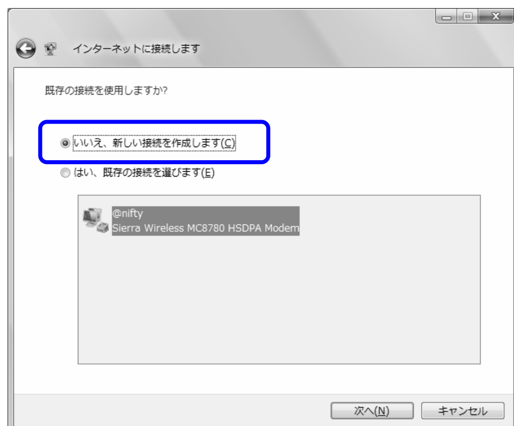
6.　「インターネットに接続します」を選択し、「次へ」をクリックします。



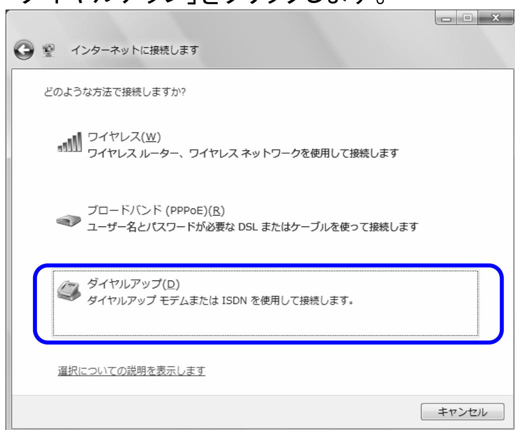
POINT

<u>接続の選択画面が表示された場合</u>

次のウィンドウが表示された場合は、「いいえ、新しい接続を作成します」をクリックしてください。



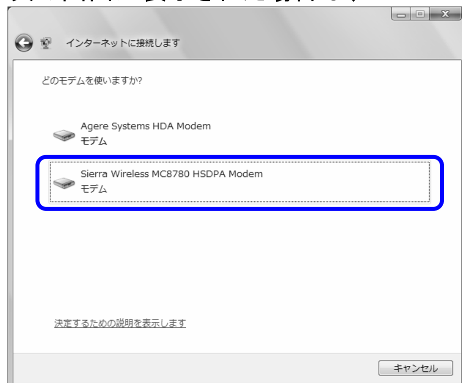
7.　「ダイヤルアップ」をクリックします。



POINT

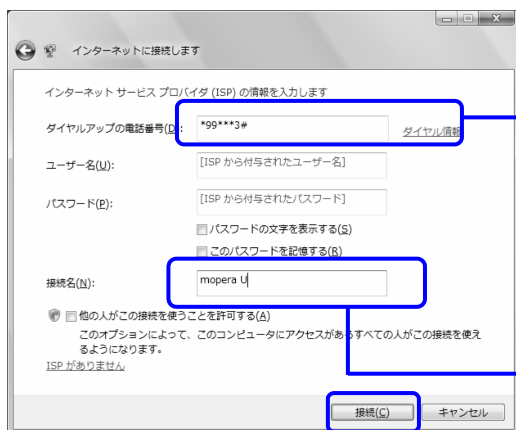
モデムの選択画面が表示された場合

次の画面が表示された場合は、「Sierra Wireless MC8780 HSDPA Modem」をクリックしてください。



8. 次の項目を入力し、「接続」をクリックします。

■mopera U または mopera をご利用の方



ダイヤルアップの電話番号

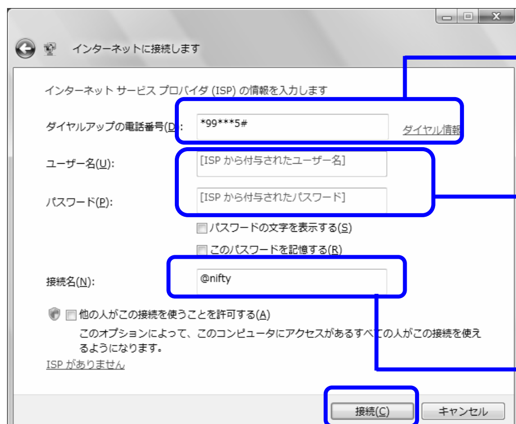
「APN Tool」にあらかじめ登録されている次の CID を含めた、「***99***(CID)#**」と入力してください。なお、登録された番号（CID）1～4 は、削除や変更をすることはできません。

番号（CID）	接続先（APN）
1	mopera.ne.jp
2	0120.mopera.net
3	mopera.net
4	0120.foma-kaitsu.mopera.ne.jp

接続名

登録したい名前を入力します。

■ mopera U または mopera 以外のプロバイダをご利用の方



ダイヤルアップの電話番号

「APN Tool」に登録したプロバイダの CID を含めた、「***99***(CID)#**」と入力してください。

ユーザー名 ・ パスワード

ご利用のプロバイダで設定しているユーザー名およびパスワードを入力してください。

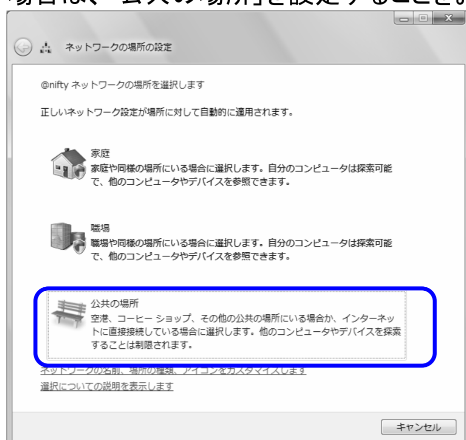
接続名

登録したい名前を入力します。



<u>「ネットワークの場所の設定」ウィンドウが表示されたら</u>

「今すぐインターネットを参照します」または「閉じる」をクリックすると、「ネットワークの場所の設定」ウィンドウが表示される場合があります。「ネットワークの場所の設定」ウィンドウが表示された場合は、「公共の場所」を設定することをお勧めいたします。



インターネットに接続すると、画面に「インターネットに接続されています」と表示されます。
NTT ドコモ 定額データプランにご契約していない方は、これで初期設定は完了です。

3. FOMA HIGH-SPEED へ接続する/切断する

ここでは、このパソコンの無線WANを使用してFOMA HIGH-SPEEDへ接続または切断する方法について説明します。NTTドコモとの契約プランをご確認のうえ、設定方法をご覧ください。



国際ローミングについて

このパソコンは海外での無線WANの接続を保証していませんが、お使いになる国によっては、国際ローミングによって接続できる場合があります。その際には、国際ローミング中のデータ通信料が非常に高額になる場合がありますので、ご利用にあたっては充分にご注意ください。

ソフトウェアの起動について

「Internet Explorer」やメールソフトなどは、無線WANがインターネットに接続してから起動してください。インターネットに接続する前にこれらのソフトウェアを起動すると、インターネットに接続できない場合があります。

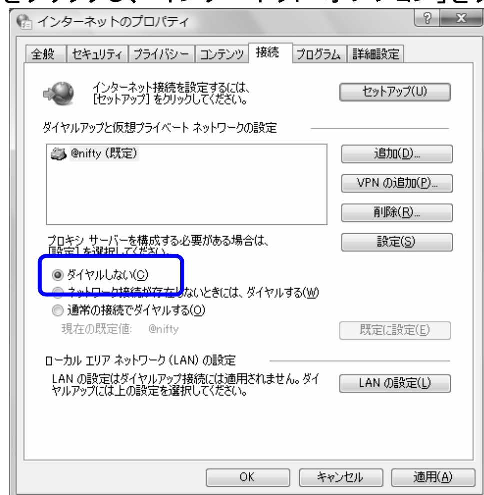
ブラウザを閉じたときは、必ず接続が切れているか確認してください

「インターネットオプション」の設定によっては、ブラウザを閉じても自動で接続が切断されない場合があります。通信を切断していないと、高額のデータ通信料が発生する恐れがありますので、ブラウザを閉じたときは、必ず通知領域を確認し、通信が切断されているか確認してください。

「インターネットオプション」で「ダイヤルしない」に設定してください

「インターネットオプション」の設定によっては、パソコンが起動中に、自動的にダイヤルアップ接続でインターネットに接続する場合があります。このような場合、高額のデータ通信料が発生する恐れがありますので、自動的にインターネットに接続することを防ぐため、「インターネット オプション」の「接続」タブにある「ダイヤルしない」に設定してください。

「インターネット オプション」は、(スタート)→「コントロールパネル」から「ネットワークとインターネット」をクリックし、「インターネット オプション」をクリックして表示できます。



接続する

1. パソコン本体のワイヤレススイッチを右にスライドし、電波を発信できる状態にします。

2. （スタート）→「すべてのプログラム」→「Sierra　Wireless」→「3G Watcher」→「3G Watcher」の順にクリックします。

「3G Watcher」が起動します。



3G Watcher



<u>「FOMAカードにパスワードを設定している場合は、パスワードを要求されます。</u>

「3G Watcher」を起動したときにパスワードを要求された場合は、FOMAカードに設定しているパスワードを入力してください。パスワードについて詳しくは、「5.セキュリティ」（→P.26）をご覧ください。

<u>「3G Watcher」で電波を停止している場合は、無線をオンにする必要があります。</u>

「3G Watcher」で電波を停止している場合は、「3G Watcher」で電波を停止する方法（→P.21）をご覧になり、あらかじめ無線WANの電波をオンにしておいてください。

<u>「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を終了し、すぐに「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を起動しないでください。</u>

「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を終了し、すぐに「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を起動してしまうと、「無線がオフです」というメッセージが表示され正常に動作しません。

3. 「ツール」をクリックし、表示されるメニューで「無線をオンにする」が選択されていることを確認します。

選択されていない場合は「無線をオンにする」をクリックします。

この後は、NTT ドコモとの契約プランによって操作方法が異なります。
NTT ドコモとの契約プランをご確認のうえ、どちらかの設定方法をご覧ください。

■NTT ドコモ　定額データプランを契約している場合

「3G Watcher」を表示させた状態で、「NTT ドコモ　定額データプラン接続ソフト」をご利用になり、インターネットに接続してください。

詳しくは、NTTドコモのホームページをご覧ください

NTTドコモ　ホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

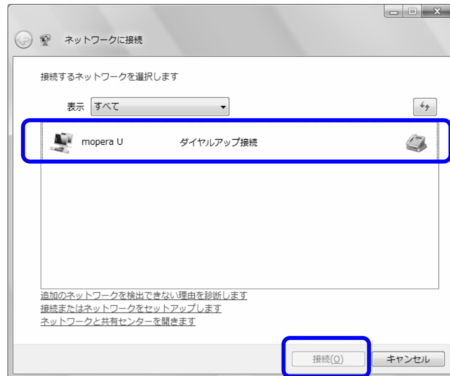
■NTT ドコモ　定額データプランを契約していない場合

「3G Watcher」を表示させた状態で、次の手順へ進んでください。

1. （スタート）→「接続先」をクリックします。

「ネットワークに接続」ウィンドウが表示されます。

2. 接続するネットワークを選択し、「接続」をクリックします。



3. 表示された接続画面の設定を確認し、「ダイヤル」をクリックします。



インターネットに接続されます。

切断する

1. 接続を切断します。

NTT ドコモとの契約プランによって操作方法が異なります。
NTT ドコモとの契約プランをご確認のうえ、どちらかの設定方法をご覧ください。

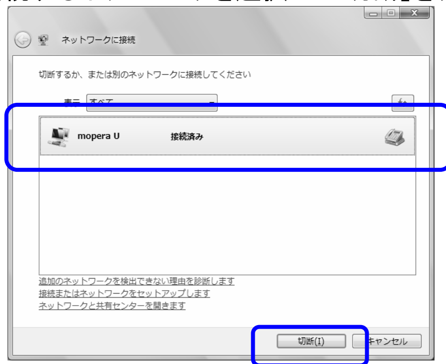
■NTT ドコモ 定額データプランを契約している場合

「NTT ドコモ 定額データプラン接続ソフト」をご利用になり、切断を行います。
詳しくは、NTT ドコモのホームページをご覧ください
NTTドコモ ホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/

■NTT ドコモ 定額データプランを契約していない場合

1. (スタート)→「接続先」をクリックします。
「ネットワークに接続」ウィンドウが開きます。

2.接続するネットワークを選択して「切断」をクリックし、切断を行います。



2. 「3G Watcher」の(閉じる)をクリックし、「3G Watcher」を終了させます。
3. 必要に応じてパソコン本体のワイヤレススイッチを左にスライドし、無線WANの電波を停止させます。

■ワイヤレススイッチで電波を停止する方法

病院や飛行機内、その他電子機器使用の規制がある場所では、あらかじめ無線 WAN の電波を停止してください。ワイヤレススイッチで電波を停止すると、消費電力を抑えるため無線 WAN 機能自体が停止します。

1. パソコン本体のワイヤレススイッチを左にスライドします。

   無線 WAN の電波が停止します。

   POINT

   「3G Watcher」に「デバイスは検出されませんでした」と表示されます

   ワイヤレススイッチで電波を停止すると、消費電力を抑えるため無線 WAN 機能が停止します。「3G Watcher」が表示されている場合は、「3G Watcher」には「デバイスは検出されませんでした」と表示されます。

■「3G Watcher」で電波を停止する方法

「3G Watcher」で無線 WAN の電波を停止することもできます。

1. (スタート)→「すべてのプログラム」→「Sierra Wireless」→「3G Watcher」→「3G Watcher」の順にクリックします。

   「3G Watcher」が起動します。

   重要

   「FOMAカードにパスワードを設定している場合は、パスワードを要求されます。

   「3G Watcher」を起動したときにパスワードを要求された場合は、FOMAカードに設定しているパスワードを入力してください。パスワードについて詳しくは、「5. セキュリティ」(→P.23)をご覧ください。

   「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を終了し、すぐに「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を起動しないでください。

   「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を終了し、すぐに「3G Watcher」あるいは「APN Tool」を起動してしまうと、「無線がオフです」というメッセージが表示され正常に動作しません。

   ワイヤレススイッチで電波を停止している場合

   ワイヤレススイッチで電波を停止している場合は、「3G Watcher」には「デバイスは検出されませんでした」と表示され、「3G Watcher」で電波を停止することはできません。
2. 「ツール」をクリックし、表示されるメニューから「無線をオフにする」をクリックします。

   無線 WAN の電波が停止します。

4. 便利な機能を使う

「3G Watcher」を使用して、ショートメッセージを作成したり、電話番号を電話帳に登録したりすることができます。

SMS （ショートメッセージサービス）を使う

「3G Watcher」では、SMS（ショートメッセージサービス）を使用して、メッセージを送受信することができます。

ここでは例として、ショートメッセージを送る手順について説明します。

POINT

NTTドコモ以外の海外通信事業者のお客様とも送受信が可能です

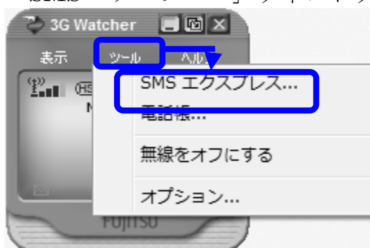
ご利用可能な国や海外通信事業者については、NTTドコモ ホームページをご覧ください。

NTTドコモ ホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/

なお、海外通信事業者の機種との通信の場合は、宛先に「+」、「国番号」、「相手先の携帯電話番号（「0」で始まる場合は「0」を除きます。）」を入力してください。

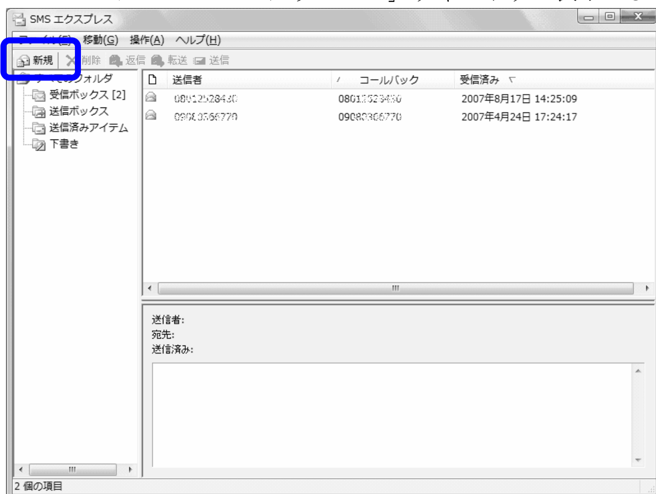
1. 「ツール」をクリックし、表示されるメニューから「SMS エクスプレス」をクリックします。

   「SMS エクスプレス」ウィンドウが表示します。



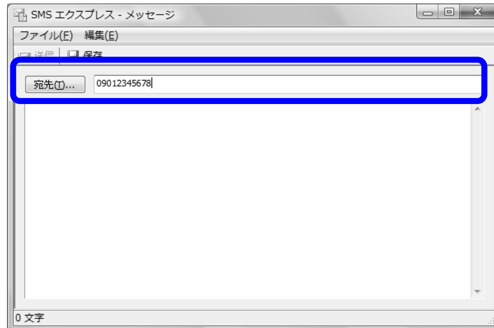
2. 「新規」ボタンをクリックします。

   「SMS エクスプレス - メッセージ」ウィンドウが表示します。



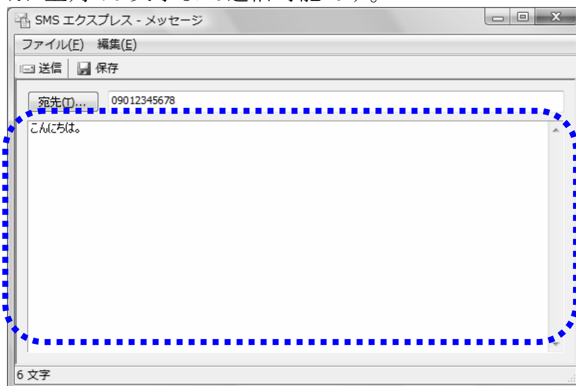
3. 「SMSエクスプレス － メッセージ」ウィンドウで、宛先の電話番号を入力します。

「宛先」ボタンをクリックして電話帳を表示すると、電話帳に登録済みの宛先を選択することができます。電話帳の使用方法については「電話帳を使う」（→P.24）をご覧ください。



4. メッセージを入力します。

※ 全角 70 文字まで送信可能です。



5. 「送信」ボタンをクリックします。

メッセージが送信されます。

POINT

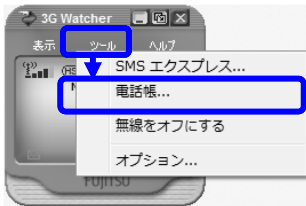
メッセージを受信した場合

メッセージを受信すると、メッセージを受信したことを表すアイコンがメイン画面に表示されます。また、画面右下の通知領域にも、アイコン（ ）が表示されます。

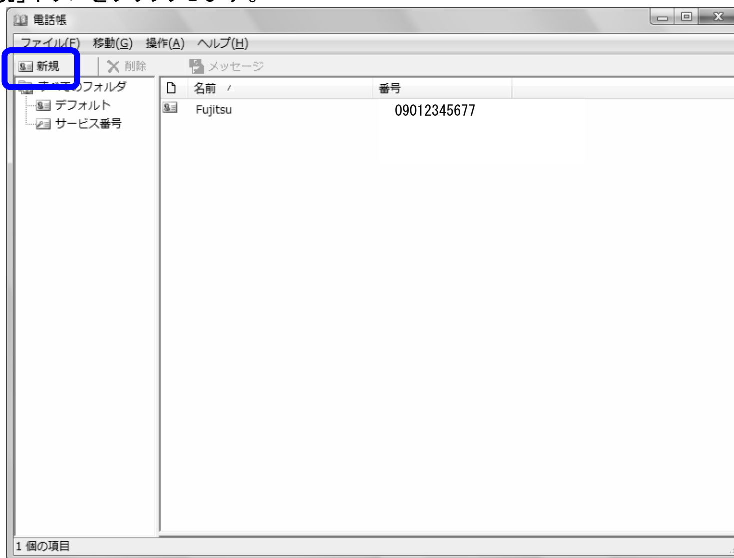


電話帳を使う

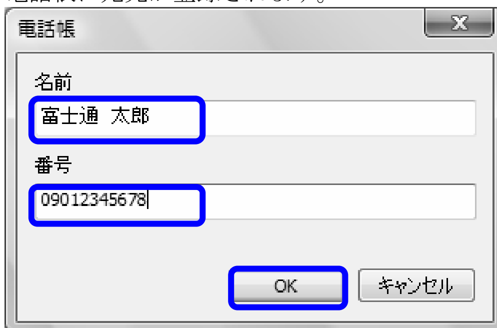
1. 「ツール」をクリックし、表示されるメニューから「電話帳」をクリックします。
   「電話帳」ウィンドウが表示されます。



2. 「新規」ボタンをクリックします。



3. 電話帳に登録したい名前と電話番号をそれぞれ入力し、「OK」をクリックします。
   電話帳に宛先が登録されます。



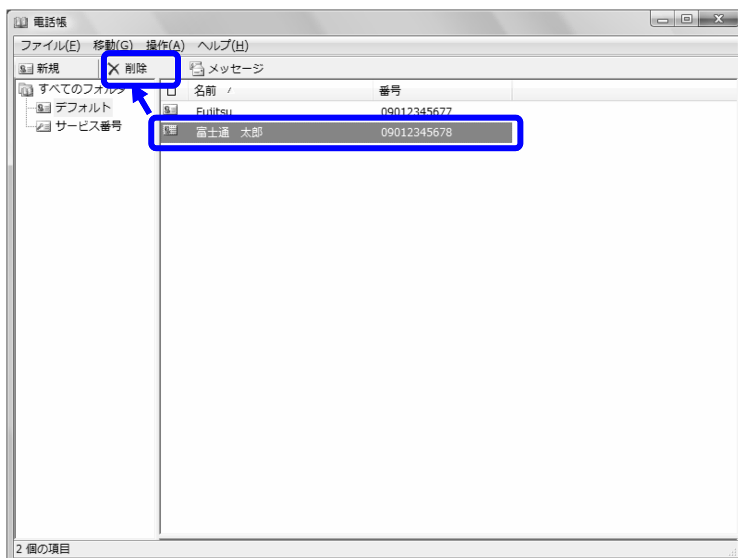
POINT

登録した名前や電話番号を変更／削除するには

登録した宛先と電話番号は、変更することはできません。
登録した内容を変更する場合は、電話番号を削除してから、新規登録をし直してください。

電話番号を削除する場合は、次の手順で削除してください。

1. 削除する電話番号を選択して、「削除」をクリックします。



5. セキュリティ

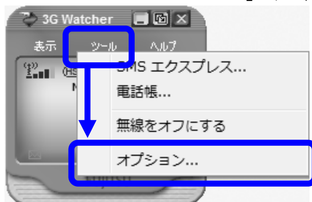
「3G Watcher」を使用して FOMA カードにパスワードを設定することにより、無線 WAN 機能の利用を制限することができます。なお、FOMA カードには、「PIN1 コード」と「PIN2 コード」という2つのパスワードを設定することができます。
FOMA カードに関するご質問は、NTT ドコモ ホームページをご覧ください。
NTTドコモ ホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/

FOMAカードにパスワードを設定する

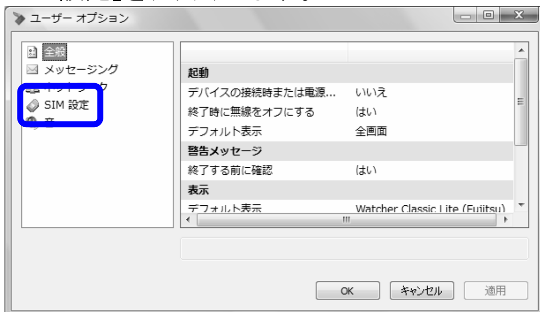


パスワードの設定や変更には初期設定時のPINコードが必要です。
FOMA カードにパスワードを設定する場合や初めてパスワードを変更する場合は、NTT ドコモとの契約時に初期設定された PIN コードが必要になります。

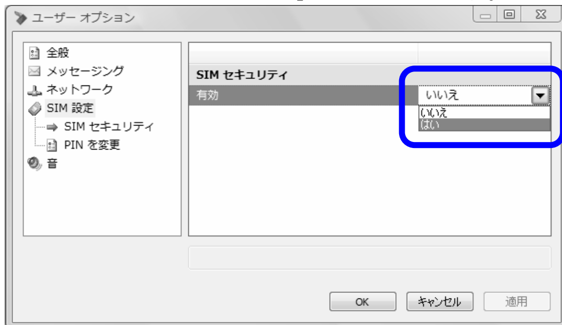
1. 「ツール」をクリックし、表示されるメニューから「オプション」をクリックします。
「ユーザーオプション」ウィンドウが表示されます。



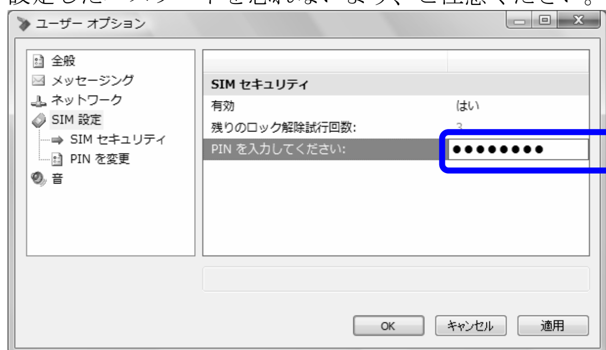
2. 「SIM設定」をクリックします。



3. 「SIMセキュリティ」の「有効」をクリックして「はい」を選択します。
「PIN を入力してください」と表示されます。

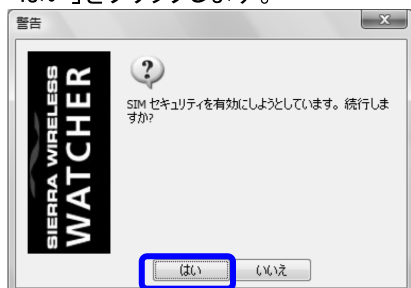


4. パスワードを入力します。なお、パスワードに使用できる文字は数字のみです。
設定できる文字数は4文字以上、8文字以下です。
設定したパスワードを忘れないよう、ご注意ください。



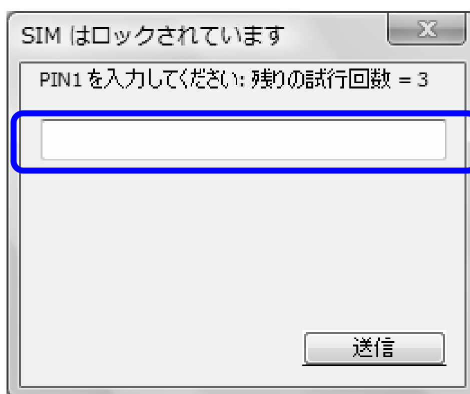
5. 「OK」をクリックします。
「警告」のメッセージが表示されます。

6. 「はい」をクリックします。



以上で FOMA カードにパスワードが設定されました。次回起動時には、パスワードが要求されます。





重要

パスワードの入力を3回間違えると、FOMAカードがロックされます。

FOMAカードがロックされた場合は「SIMはブロックされています」というウィンドウが表示されます。
この場合は、次の手順でロックを解除してください。

1. 「非ブロック化コードを入力してください」に、契約時にNTTドコモより提供された「PINロック解除コード」を入力します。
2. 「新しいPIN1」、「PIN1を検証」に、新しいパスワードを入力します。
3. 「送信」をクリックします。
4. 「3G Watcher」いったん終了させます。



・手順4で「3G Watcher」を終了せずに、次の操作を行うと、正しいパスワードを入力してもパスワードが解除できなくなります。

-ワイヤレススイッチまたは「3G Watcher」で電波を停止し、再び電波を発信する

-パソコンを待機状態にした後、復帰させる

この場合は、ワイヤレススイッチまたは「3G Watcher」で電波を停止（→P.21）し、「3G Watcher」を終了させ、しばらくしてから再び「3G Watcher」を起動してください。

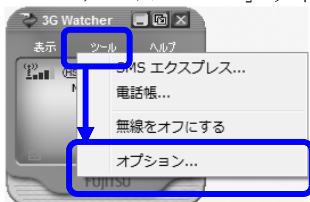
・PINロック解除コードを10回間違えると、「SIMが拒否されました」と表示され、通信が出来なくなります。その場合は、NTTドコモへご相談ください。
NTTドコモ　ホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

DoCoMo ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ　受付時間：午前 9：00～午後 8:00
　→ドコモの携帯電話からの場合
　　(局番なし)　151(無料)　※一般電話などからはご利用いただけません。
　→一般電話などからの場合
　　0120-800-000(無料)　※携帯電話、PHS からもご利用になれます。

FOMAカードに設定したパスワードを変更する

FOMA カードに設定したパスワード「PIN1 コード」と「PIN2 コード」は、変更することできます。

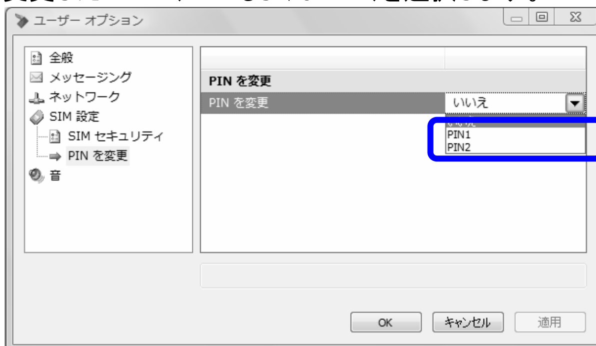
1. 「ツール」をクリックし、表示されるメニューから「オプション」をクリックします。
「ユーザーオプション」ウィンドウが表示されます。



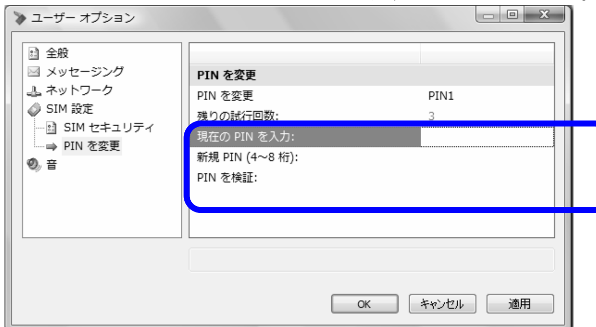
2. 「SIM設定」→「PINを変更」の順にクリックします。



3. 変更したいPIN (PIN1もしくはPIN2)を選択します。



4. 「現在のPINを入力」欄に現在のパスワードを、「新規PIN（4～8桁）」欄と「PINを検証：」欄に新しいパスワードを入力します。
パスワードに使用できる文字は数字のみです。設定できる文字数は4文字以上、8文字以下です。
設定したパスワードを忘れないよう、ご注意ください。



5. 「OK」をクリックします。

以上で FOMA カードのパスワードが変更されました。
次回起動時にパスワードが要求されたときからは、新しいパスワードを入力してください。



パスワードの入力を3回間違えると、FOMAカードがロックされます。

FOMAカードがロックされた場合は「SIMはブロックされています」というウィンドウが表示されます。
この場合は、次の手順でロックを解除してください。

1. 「非ブロック化コードを入力してください」に、契約時にNTTドコモより提供された「PINロック解除コード」を入力します。
2. 「新しいPIN1」、「PIN1を検証」に、新しいパスワードを入力します。
3. 「送信」をクリックします。
4. 「3G Watcher」いったん終了させます。

SIM はブロックされています

非ブロック化コードを入力してください: 残りの試行回数 = 10 ①

新しい PIN1: PIN1 を検証: ②

送信 ③

・手順4で「3G Watcher」を終了せずに、次の操作を行うと、正しいパスワードを入力してもパスワードが解除できなくなります。

　－ワイヤレススイッチまたは「3G Watcher」で電波を停止し、再び電波を発信する

　－パソコンを待機状態にした後、復帰させる

この場合は、ワイヤレススイッチまたは「3G Watcher」で電波を停止（→P.21）し、「3G Watcher」を終了させ、しばらくしてから再び「3G Watcher」を起動してください。

・PINロック解除コードを10回間違えると、「SIMが拒否されました」と表示され、通信が出来なくなります。その場合は、NTTドコモへご相談ください。
NTTドコモ　ホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

DoCoMo ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ　受付時間：午前 9：00～午後 8:00
　→ドコモの携帯電話からの場合
　　　(局番なし)　151(無料)　※一般電話などからはご利用いただけません。
　→一般電話などからの場合
　　　0120-800-000(無料)　※携帯電話、PHS からもご利用になれます。

6．無線 WAN、および FOMA カードをお使いになる上での ご注意

無線WANによる通信、およびFOMAカードをお使いになるときは、次の点にご注意ください。

- 無線WANは、無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中や陰などで電波が届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、およびFOMAのエリア外ではご使用になれません。
- 高層ビルやマンション等の高層階で見晴らしの良い場所であっても、ご使用になれない場合があります。また、電波が強くアンテナアイコンが5本表示されている状態で移動せずに使用している場合でも、通信が切れる場合がありますので、予めご了承ください。
- 病院内や医療用電気機器のある場所ではワイヤレススイッチをOFFにしてください。特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。無線WANモジュールからの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
- 心臓ペースメーカーの装着部位からは、22cm以上離してください。電波によりペースメーカーの作動に影響を及ぼすことがあります。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性がありますので、ワイヤレススイッチをOFFにしてください。電波により心臓ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- 航空機内ではワイヤレススイッチをOFFにしてください。運航の安全に支障をきたすおそれがあります。
- 自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くでは使用しないでください。無線WANモジュールからの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
- 本製品を絶対にお客様自身で分解や修理・改造をしないでください。内部に触ると感電の原因になります。
- ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所ではワイヤレススイッチをOFFにしてください。爆発や火災の原因になります。
- お使いの環境によっては、通信速度が遅い場合があります。予めご了承ください。

7. 無線 WAN で困ったら

ここでは、無線WANを使っていて、故障かなと思うようなトラブルが発生した場合の対処方法を説明しています。

「3G Watcher」で表示されるメッセージ

■「デバイスは検出されませんでした」と表示される



[原因①]
ワイヤレススイッチで電波が停止されている。
[対処]
ワイヤレススイッチが ON(右側にスライド)になっているかを確認してください。
[原因②]
ドライバが正しくインストールされていない。
[対処]
添付のマニュアル『取扱説明書』をご覧になりリカバリを行ってください。

■「無線はオフです」と表示される



[原因]
「3G Watcher」で電波が停止されている。
[対処]
「ツール」をクリックし、表示されるメニューから「無線をオンにする」をクリックしてください。

■「SIM が挿入されていません」と表示される



[原因]
FOMA カードがセットされていない。または認識できていない。
[対処]
FOMA カードをセットし直してください。(→P.6)

■「検索しています…」と表示され続ける



[原因]
ネットワーク圏外である。
[対処]
ネットワーク圏内となる場所に移動してください。

通信ができない

「「3G Watcher」で表示されるメッセージ」(→P.32)もあわせてご覧ください。

[原因①]

「3G Watcher」が起動していない。

[対処]

「3G Watcher」を起動してください。

[原因②]

ダイヤルアップの設定が間違っている。

[対処]

「2.初期設定をする」(→P.5)で説明している手順を確認してください。

とくに、次の点に注意してください。

- 設定のときに正しいモデムを選択したか
- 電話番号に入力した CID は正しいか
- 電話番号に入力した*の数は正しいか
- 電話番号の最後に#が入力されているか
- ユーザ名、パスワードは正しいか
  (mopera U または mopera を利用する場合は、ユーザ名、パスワードを入力する必要はありません)

パスワードロックを解除したはずなのに、再びロックされてしまう

「PIN ロック解除コード」を入力して、新しいパスワードを入力(→P.28、P30)したら、「3G Watcher」を一度終了してください。「3G Watcher」を終了せずに、次の操作を行うと、正しいパスワードを入力してもパスワードが解除できません。

- ワイヤレススイッチまたは「3G Watcher」で電波を停止した後、電波をオンにする
- パソコンを待機状態にした後、復帰させる

この場合は、次の手順を行ってください。

1. ワイヤレススイッチまたは「3G Watcher」で電波を停止(→P.21)します。
2. 「3G Watcher」を終了して、しばらくしてから「3G Watcher」を起動してください。

8．仕様一覧

製品名称			FMV-BIBLO LOOX R70YNX
CPU [注1]			インテルCore™ 2 Duo プロセッサー低電圧版SL7100 (拡張版インテル® Speedstep® テクノロジー搭載) 1.2GHz
キャッシュメモリ			1 次:32KB命令×2+32KBデータ×2、 2 次:4MB(CPU 内蔵)
チップセット			モバイルインテル® GS965 Express チップセット
システムバスクロック			800MHz
メインメモリ★			標準1GB(1GB×1) ／ 2GB(1GB×2) ／ 4GB(2GB×2) (PC2-5300 DDR2 SDRAM)ECC なし 最大4GB [注2]
拡張メモリスロット			× 2(空スロット×1)[注3]
表示機能	グラフィックアクセラレータ		チップセットに内蔵
表示機能	ビデオメモリ		最大256MB(メインメモリと共有)[注4]
表示機能	液晶ディスプレイ[注5]		LEDバックライト付高輝度、低反射12.1型ワイドTFT カラー 1280×800ドット (スーパーファイン液晶)
表示機能	解像度／発色数[注6]		液晶ディスプレイ表示:1280×800ドット／1677万色 外部ディスプレイ表示:最大1600×1200ドット／最大1677万色 液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示: 1280×768 ドット／1677万色
フロッピーディスクドライブ[注7]			FDD ユニット(USB)(別売)
ハードディスクドライブ[注8] ★			約80GB／約120GB／約160GB／約200GB(Serial ATA/150)[注9]
CD/DVD ドライブ[注10]			なし[注11]／スーパーマルチドライブ
オーディオ機能	オーディオコントローラ		チップセット内蔵+ High Definition Audio コーデック
オーディオ機能	PCM 録音再生機能		サンプリング周波数 最大192kHz、24ビット(再生時)[注12] サンプリング周波数 最大48kHz、16ビット(録音時)[注12] 同時録音再生機能
オーディオ機能	MIDI 再生機能		OS 標準機能にてサポート
オーディオ機能	スピーカー		ステレオスピーカー内蔵
キーボード			日本語キーボード (キーピッチ約18mm、キーストローク約2mm、86 キー、JIS配列準拠)
ポインティングデバイス			フラットポイント
指紋センサー			スライド方式／スクロール機能あり
ワンタッチボタン			プログラマブル×3、Supportボタン搭載
通信機能	モデム		なし
通信機能	LAN		1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T 準拠[注13]
通信機能	無線LAN[注14]	規格	IEEE 802.11a(J52/W52/W53/W56)準拠、IEEE 802.11b 準拠、 IEEE 802.11g 準拠(Wi-Fi® 準拠)[注15]
通信機能	無線LAN[注14]	内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式
通信機能	Bluetooth ワイヤレステクノロジー		Bluetooth Specification Ver.2.0+EDR
通信機能	無線WAN		あり
インターフェース	PC カード		PC Card Standard 準拠Type Ⅰ／ Ⅱ× 1 スロット(CardBus 対応)
インターフェース	SD カード[注16]		×1スロット
インターフェース	外部ディスプレイ		アナログRGB ミニD-SUB 15 ピン×1
インターフェース	USB [注17]		USB2.0 準拠×3(左側面×2、右側面×1)
インターフェース	IEEE1394(DV)[注18]		4 ピン×1(S400)
インターフェース	モデム		なし
インターフェース	LAN		RJ-45×1

	オーディオ	ヘッドホン：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック （出力：1mW 以上、負荷インピーダンス32Ω）／ マイク：φ3.5mm ミニジャック （入力：100mV 以下、入力インピーダンス（AC）10kΩ以上（DC）2kΩ以上）
	状態表示	LED
電源供給方式	AC アダプタ	入力AC100V 〜 240V、出力DC16V（3.75A）
	バッテリ★	内蔵バッテリパック（L）：リチウムイオン、7.2V ／ 8700mAh、 内蔵バッテリパック：リチウムイオン、7.2V ／ 5800mAh、
バッテリ稼働時間（JEITA測定法1.0注19）	内蔵バッテリパック（L）	約11.7時間
	内蔵バッテリパック	約7.5時間
バッテリ充電時間注20	内蔵バッテリパック（L）	約4.8時間
	内蔵バッテリパック	約4.8時間
消費電力注21		約15.5W／約68W
省エネ法に基づくエネルギー消費効率注22		Ｉ 区分0.00028（AAA）注23
外形寸法		W274〜280×D207×H27.3〜37.4mm（突起部含まず）
質量注24	内蔵バッテリパック（L）	約1.34kg
	内蔵バッテリパック	約1.25kg
盗難防止用ロック取り付け穴		あり
温湿度条件		温度5〜35℃／湿度20〜80%RH（動作時）、 温度-10〜60℃／湿度20〜80%RH（非動作時） （ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）
プレインストール OS★		Windows Vista Home Premium 正規版（DirectX 10 対応）／ Windows Vista Business 正規版
サポート OS 注25		Windows Vista Ultimate 正規版、Windows Vista Home Premium 正規版 （Windows Vista Home Premium 正規版を選択した場合）／ Windows Vista Ultimate 正規版、Windows Vista Business 正規版 （WindowsVista Business 正規版を選択した場合）

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART」でのみご購入いただける製品の仕様です。
★ ご購入時に選択したものをご覧ください。
パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、次項「仕様一覧の注記について」をご覧ください。

仕様一覧の注記について

注1 ソフトウェアによってはCPU 名表記が異なることがあります。
注2 ・最大メモリ容量にする場合、メモリスロットにあらかじめ搭載済のメモリを取り外して、別売の増設メモリを取り付ける必要があります。
OS が使用可能な領域は最大約3GB になります。なお、装置構成によってご利用可能なメモリ容量は異なります。
・同一容量の推奨増設メモリを2 枚搭載した場合には、デュアルチャネル対応になります。
注3 ご購入時の選択によっては空きスロットはありません。
注4 Intel® Dynamic Video Memory Technology(DVMT)を使用しており、パソコンの動作状況によりメモリ容量が最大容量まで変化します。最大容量は、メインメモリの容量によって次のように変わります。
メインメモリ1.5GB 以上の場合:最大384MB
注5 ・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります(有効ドット数の割合は99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています)。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
・本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
・長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
・表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがありますが故障ではありません。
注6 グラフィックアクセラレータの出力する最大発色数は1677 万色ですが、液晶ディスプレイではディザリング機能によって、擬似的に表示されます。また、外部ディスプレイに出力する場合は、お使いの外部ディスプレイがこの解像度をサポートしている必要があります。
注7 フロッピーディスクは、フォーマットした環境(メーカー、機種、ソフトウェア)によっては、データを読み書きできない場合があります。対応メディアは、2HD(1.44MB, 1.2MB)と2DD(720KB)です。なお、1.44MB以外のフォーマットはできません。
注8 容量は、$1MB=1000^2 byte$、$1GB=1000^3 byte$ 換算値です。
注9 このパソコンはWindows RE領域に約1GBの領域が占有されています。そのため、「コンピュータ」のハードディスクの総容量は、マニュアルの記載よりも約1GB 少なく表示されます。
なお、ハードディスクの区画の数や種別を変更したり、外付けドライブを接続した状態では、「トラブル解決ナビ」が正常に動作しなくなります。ご了承ください。
注10 各ドライブの主な仕様は次の通りです。
なお、各数値は仕様上の最大限であり、使用メディアや動作環境によって異なる場合があります。
スーパーマルチドライブ

CD/DVD	読出速度(最大)	書込速度(最大)
CD-ROM	24 倍速	―
CD-R	24 倍速	書込24 倍速
CD-RW	24 倍速	書換10 倍速
DVD-ROM	8 倍速	―
DVD-RAM	5 倍速(4.7/9.4GB)	書換5 倍速(4.7/9.4GB)
DVD-R	8 倍速	書込8 倍速
DVD-R DL	6 倍速(8.5GB)	書込4 倍速(8.5GB)
DVD-RW	8 倍速	書換6 倍速
DVD+R	8 倍速	書込8 倍速
DVD+R DL	6 倍速(8.5GB)	書込4 倍速(8.5GB)
DVD+RW	8 倍速	書換8 倍速

注 11 スーパーマルチドライブ無しを選択した場合は、次のポータブル CD/DVD ドライブのご購入をお勧めいたします。
・ポータブル CD-RW/DVD-ROM ドライブ
- 品名:DVD-ROM&CD-R/RW ドライブユニット
- 型名:FMV-NCB53(Fujitsu)
・ポータブルスーパーマルチドライブ
- 品名:スーパーマルチドライブユニット
- 型名:FMV-NSM52(Fujitsu)
他社製品をご購入の場合は、サポートページ(http://azby.fmworld.net/support/)の「他社周辺機器接続情報」ご覧ください。

注12 使用できるサンプリングレートは、ソフトウェアによって異なります。

注13 ・1000Mbps は1000BASE-T の理論上の最高速度であり、実際の通信速度はお使いの機器やネットワーク環境により変化します。
・1000Mbps の通信を行うためには、1000BASE-T に対応したハブが必要となります。また、LAN ケーブルには、1000BASE-T に対応したエンハンスドカテゴリ5(カテゴリ5E)以上のLAN ケーブルを使用してください。
注14 無線LAN の仕様については次のマニュアルをご覧ください。
『画面で見るマニュアル』「002000」で検索
→「無線LAN の仕様」

注15 Wi-Fi® 準拠とは、無線LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance®」の相互接続性テストに合格していることを示します。
注16 ・すべてのSDメモリーカードの動作を保証するものではありません。
・マルチメディアカード(MMC)やセキュアマルチメディアカードには対応していません。
・SDIOカードには対応していません。
・miniSDカード、microSDカードをお使いの場合は、アダプタが必要になります。必ずアダプタにセットしてからお使いください。
・2GB を超えるSD メモリーカードには対応していません。2GB を超える場合は、SDHC カードをお使いください。
・著作権保護機能(CPRM)に対応しています。
・このパソコンでは「SD-Jukebox」というソフトでSD-Audio 形式でファイルの読み書きを行うときに、著作権保護機能(CPRM)が有効になります。
・「SD-Jukebox」については次のページをご覧ください。
・「SD-Jukebox」(http://panasonic.jp/support/software/sdjb/index.html)
注17 全てのUSB 対応周辺機器について動作保証するものではありません。
注18 すべてのIEEE1394 対応周辺機器について動作保証するものではありません。
注19 社団法人電子情報技術産業協会の『JEITA バッテリ動作時間測定法(Ver1.0)』(http://it.jeita.or.jp/mobile/index.html)。なお、本体のみ、省電力制御あり、満充電の場合。ただし、実際の稼働時間は使用条件により異なります。
注20 ・電源OFF 時またはスリープ時。なお、装置の動作状況により充電時間が長くなることがあります。
注21 ・動作時の最小消費電力(Windows起動直後の消費電力)/最大消費電力です。また、ACアダプタ運用時の消費電力です。
・電源OFF時の消費電力は、約1W以下(満充電時)です。なお、電源OFF時のエネルギー消費を回避するには、ACケーブルの電源プラグをコンセントから抜いてください。
注22 エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
注23 ・2007 年度基準で表示しています。
・カッコ内の数値は省エネルギー基準達成率を示します。ただし、達成率が100%を超えるものは、次のようにアルファベットで表記しています。
A:100%以上200%未満、AA:200%以上500%未満、AAA:500%以上
注24 ご購入時に選択された仕様によって、質量が異なる場合があります。
注 25 日本語 32 ビット版。

Memo

Memo

FOMA® HIGH-SPEEDに接続可能な無線WANをお使いになる方へ
B5FH-D050-01-00
発 行 日　　2008年02月
発行責任　富士通株式会社
〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター
Printed in Japan